

篠崎小学校応援団実践報告書

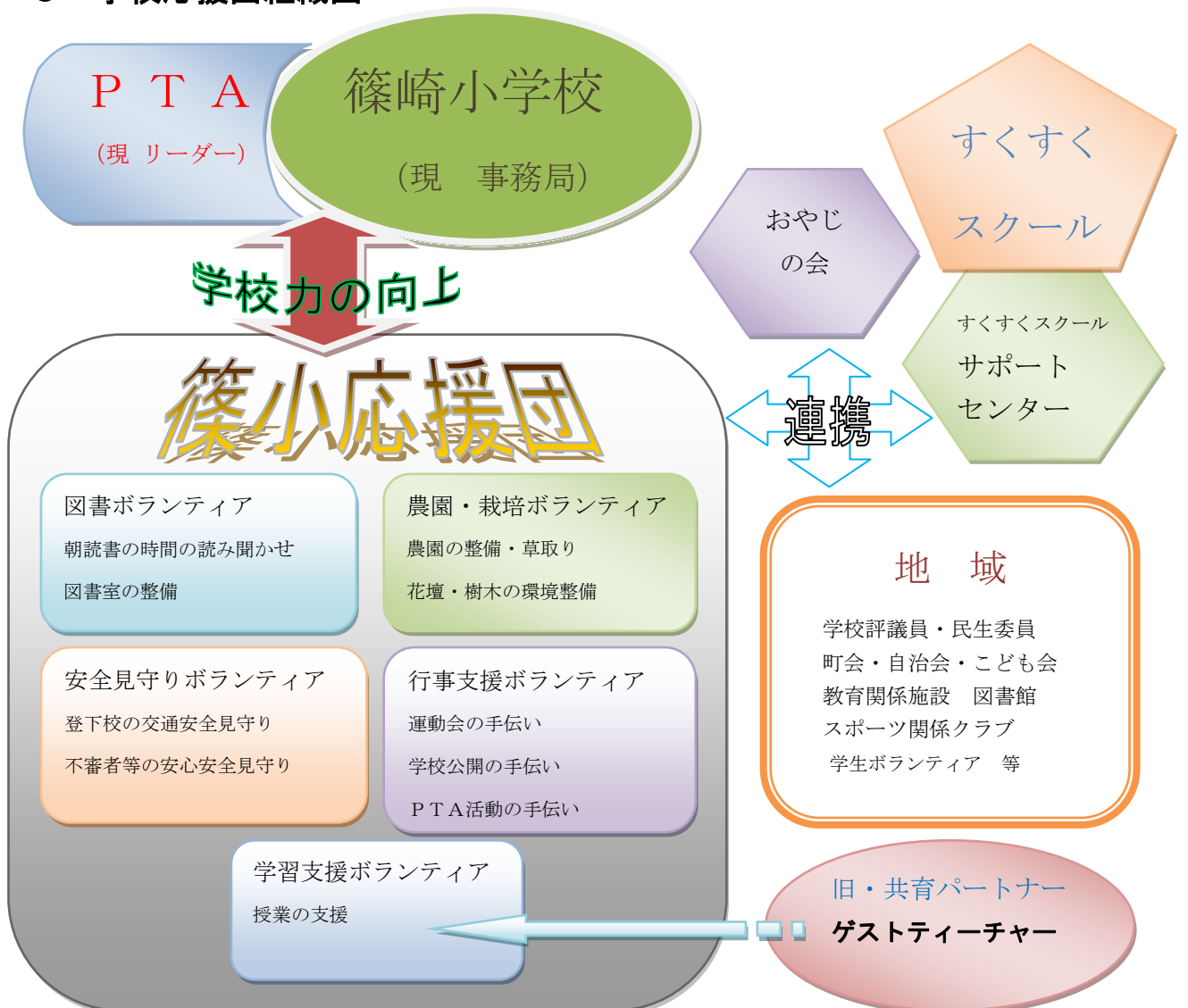
1 校長及び代表氏名

篠崎小学校長 高島 一 広
代 表 松 村 明

2 今年度の活動内容

- 図書ボランティア・・・週2回の朝読書の時間における読み聞かせ
図書室の本の整備 室内装飾・整備
- 安全見守りボランティア・・・不審者情報時の安全パトロール
マラソン大会などの行事の際、安全見守り
- 農園・栽培ボランティア・・・農園の苗植え指導・農園の耕し
校庭の花壇の花の苗植え
- 行事支援ボランティア・・・学芸会などの行事の際の駐輪場整理
- 学習支援ボランティア・・・ゲストティーチャー 学習の手伝い

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

< 成果 >

- 図書ボランティアに関しては、毎週火曜日と金曜日の朝読書の時間に順番に各学年で「読み聞かせ」を行っている。ボランティアの方が自主的に活動計画を立てているので、学校の応援になっている。1月の学校公開日には、21学級全部で読み聞かせを行っていただいた。また、夏には図書館整備ボランティアが集まり、蔵書整理と室内装飾をしていただいた。図書室が大変使いやすくなった。
- 農園・栽培ボランティアは、毎年、農園の耕しや小松菜の苗植え指導をしてくださる方がいて定着している。
- 行事支援ボランティアは、普段PTA役員・運営委員がやっている学校公開日の受付や自転車の整理・会場案内などの役割を分担して行った。PTA役員が、お知らせを出して、応援依頼をしてくださった。
- 学習支援ボランティアは、そろばん教室、低学年の音楽指導などゲストティーチャーを招き、学習指導の充実を図ることができた。また、毎年行っている凧揚げ大会に向け、今年度もゲストティーチャーに凧作りから揚げ方まで教えていただいた。



< 課題 >

- △図書ボランティア以外は、応援団自体が、学校側の呼びかけで行っているため、事務局は結局、学校（副校長）がやることになってしまっている。
- △行事支援など、従来PTA役員や運営委員が行っていたものを、ボランティアに協力依頼をしているが、呼びかけ役はPTA役員であった。未だにPTA役員の負担は大きい。学校応援団が学校主導でなく活動していくためには、学校以外の場所に事務局を設定することが望ましい。今後の改題としては、地域の人材による事務局の設置やリーダーの確保である。
- △この報告者や応援団だよりも、実質、副校長が作成しなくてはならない現状は、学校の応援どころか負担になっている。この類の報告書作成を廃止することが望ましい。

5 代表より

子供たちのためにできることを考え、支援を続けていきます。学校からお願いされることだけでなく、応援団からもアイデアを出しながら活動していきます。

6 学校長より

今後も学校力の向上のために、応援していただけることを期待しています。